

「誰か」ではなく「自分」から  
みんなで実践!

仕事 育児 家庭

両立しやすい職場づくり



お仕事しているパパ・ママを見学!

実施しました

## 子どもお仕事参観日

子どもたちが親の職場を見学する「子どもお仕事参観日」。働くパパ・ママに触れる機会は、親子の絆を深め、新たなコミュニケーションを生み出すとともに、職場と家族の交流により、仕事と育児・家庭の両立支援の意識醸成につながります。

### 株式会社大曲仙北介護支援事業所【大崎市】

業種:医療・福祉 従業員数:82名



同社は、大崎市・仙北市に7施設を運営。デイサービスやショートステイなど、地域の多様な利用者にこたえる24時間体制のサービス提供を目指しています。

そのサービスを支えている従業員の6割以上が女性であり、子育て世代も多くいることから、平成28年から育児や家庭と両立できる職場づくりを本格化。産・育休後の職場復帰プランを作成してそれぞれの要望に応じた復帰を支援し、取得率100%を達成。子どもの不調や、学校行事などにも活用しやすいようにと、有休は半日、子の看護休暇(有給)は時間単位での取得を可能にしました。社長と従業員との個人面談などを通じて現場の声をくみ上げながら、ニーズに即した取組を続けています。

#### 当日のスケジュール

- |       |                 |
|-------|-----------------|
| 14:00 | 子どもたちお出迎え、一緒に体操 |
| 14:15 | ビンゴゲーム          |
| 14:30 | しりとり            |
| 15:00 | おやつ配り体験         |



## 見学内容

### 【参加者／幼児4名・小学生3名】

大仙市のデイサービスホーム仙寿園で開かれた参観日は、利用者と子どもたちが一緒に体操、ビンゴゲーム、しりとりなどを楽しみました。その後、子どもたちが利用者一人ひとりにおやつやお茶を配る係を担当。ちょっと緊張しながら配り終えた子どもたちは、「ありがとうね」という利用者のやさしい言葉にうれしそうに微笑んでいました。

参観日も今年で3回目となり、各施設ごとの状況に合わせて毎年さまざまな工夫をしてきました。子どもたちが参加しやすい日程で、施設の利用者や従業員にあまり負担のかからない内容にすることも重要なポイント。みんなが気負わず気軽に楽しみ、無理なく続けることを目指しています。

参加する子どもたちは少しずつ増え、最初はあまり関心を示さなかった利用者が、参観日を楽しみにするようになったことも、取組の成果です。



### 保護者から

#### デイサービスホーム仙寿園施設管理者 児玉さん

小学5年生の二女と5歳の姪は、自分の祖父母より年上の利用者に少し緊張していました。でも、一緒にビンゴやしりとりを楽しんだり、おやつを運ぶお手伝いなどで少しずつリラックスしたようです。介護という仕事や私の職場についても、少しずつ理解してくれればうれしいです。



### 職場から

#### 高橋社長

参観日は、各施設の状況に合わせて工夫を加えながら取り組んでいます。前年の問題点を改善しながら実施することで、参加する子どもの数や利用者の期待値も上がっており、継続の手応えを感じています。また、お互いの子どもを交えた従業員のコミュニケーションを深める機会にもなっています。これからも、みんなが気軽に集まって楽しく過ごせる参観日を、長く続けていきたいですね。